

参考文献

地質班

- 青木かおりほか（2008）「鹿島沖海底コア MDO1-2421 の後期更新世テフラ層序」『第四紀研究』47(6)pp.391-407
- 秋川の自然編集委員会（1984）『秋川の自然』秋川市 226pp.
- 足立久男（1988）「五日市盆地「過去への探検」」『昭和 62 年度東京都教育研究生報告書「五日市盆地の地形地質の教材化」別冊』90pp.
- 化石は語る五日市むかしむかし編集委員会（2004）『化石は語る 五日市むかしむかし（改訂版）』あきる野市教育委員会 75pp.
- 五日市盆地団体研究グループ（1981）「五日市盆地の新第三系」『地球科学』vol.35pp.183-197
- 植木岳雪、酒井彰（2007）『青梅地域の地質 地域地質研究報告（5 万分の 1 地質図幅）』地質調査所 189pp.
- 太田陽子ほか（2010）『日本列島の地形学』東京大学出版会 204pp.
- 貝塚爽平ほか（2000）『日本の地形4 関東・伊豆小笠原』東京大学出版会 349pp.
- 株式会社パレオ・ラボ（2011）「五日市湖成層の自然科学分析報告書」
- 株式会社パレオ・ラボ（2012）「五日市湖成層の自然科学分析Ⅱ報告書」
- 黒川勝己（2005）『テフラ学入門 ー野外観察から地球環境史の復元までー』地学団体研究会 205pp.
- 小泉武栄（1996）「秋留台地の湧水と集落立地」『多摩のあゆみ』vol.83（1996年8月）pp.17-20
- 酒井彰（1982）『五日市地域の地質 地域地質研究報告（5 万分の 1 地質図幅）』地質調査所 75pp.
- 鈴木康司（1962）「南関東西縁地域の第四系の層序および地質構造発達史の研究Ⅰー五日市盆地における下部洪積統の層序学的意義ー」『資源科学研究所彙報』no.56-57pp.1-11
- 角田清美（2010）「秋川・平井川流域の成り立ち」『平井ッ原の地形と縄文人』日の出町教育委員会 pp.23-35
- 多摩川の石編集委員会（2003）『河原の石のしらべ方 多摩川の石』地学団体研究会 80pp.
- 東京都土木技術研究所（2003）「東京都奥多摩地域地質図」
- 野尻湖ケイソウグループ（2000）『ケイソウのしらべかた』地学団体研究会 105pp.
- 野尻湖火山灰研究グループ（2005）『新版火山灰分析のてびき』地学団体研究会
- 町田洋、新井房夫（2003）『新編火山灰アトラス「日本列島とその周辺」』東京大学出版会 336pp.

植物班

- 秋川の自然編集委員会（1984）『秋川の自然』秋川市 226pp.
- 秋川市教育委員会社会教育課／編（1974）『秋川市の文化財 第一集～第七集 合冊版』秋川市教育委員会 223pp.
- 秋川市（1994）「秋川市現存植生図」秋川市
- 五日市町役場企画財政編集（1962）『いつかいち 1962 五日市町勢要覧 昭和 36 年版』五日市町役場 54pp.
- 青梅市郷土博物館（1982）『青梅市の自然』青梅市郷土博物館 450pp.
- 植物研究グループ飯泉ゼミ（1989）『檜原の植物 草木たちの自然史』織水社 246pp.
- 鈴木由告（1990）『鈴木由告植物生態学論文選集』鈴木由告氏の論文集を出版する会 395pp.
- 東京都環境保全局／編（1985）「東京都植生調査報告書」東京都環境保全局自然保護部 282pp.

- 奥富清、奥田重俊、辻誠司、星野義延（1987）『東京都植生調査報告書』 pp.249
- 東京都環境局（2009）「東京都現存植生図 2007 年版」
- 東京都環境局自然環境部（2010）「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）東京都レッドリスト 2010 年版」 121pp.
- 宮内敏夫（1992）『復刻版「奥多摩」』 百水社 383pp.
- 宮脇昭（1977）『日本の植生』 学習研究社 535pp.
- 宮脇昭、奥田重俊（1990）『日本植物群落図説』 至文堂 168pp.
- 邑田仁、米倉浩司（2010）『高等植物分類表』 北隆館 189pp.
- 佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎、巨理俊次、富成忠夫（1982）『日本の野生植物草本Ⅰ 単子葉類』 平凡社 513pp.
- 佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎、巨理俊次、富成忠夫（1982）『日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類』 平凡社 590pp.
- 佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎、巨理俊次、富成忠夫（1981）『日本の野生植物草本Ⅲ 合弁花類』 平凡社 483pp.
- 佐竹義輔、原寛、巨理俊次、富成忠夫（1989）『日本の野生植物木本Ⅰ』 平凡社 625pp.
- 佐竹義輔、原寛、巨理俊次、富成忠夫（1989）『日本の野生植物木本Ⅱ』 平凡社 591pp.
- 岩槻邦男（1992）『日本の野生植物シダ』 平凡社 311pp.
- 北村四郎、村田源、堀勝（1983）『原色日本植物図鑑草本編Ⅰ』 保育社 297pp.
- 北村四郎、村田源（1983）『原色日本植物図鑑草本編Ⅱ』 保育社 390pp.
- 北村四郎、村田源、小山鐵夫（1983）『原色日本植物図鑑草本編Ⅲ』 保育社 465pp.
- 長田武正（1986）『原色日本帰化植物図鑑』 保育社 425pp.
- 林弥栄、平野隆久（1989）『山溪ハンディ図鑑 1 野に咲く花』 山と溪谷社 623pp.
- 永田芳男、畔上能力（1996）『山溪ハンディ図鑑 2 山に咲く花』 山と溪谷社 591pp.
- 石井英美、崎尾均、吉山寛ほか（2000）『山溪ハンディ図鑑 3 樹に咲く花 離弁花 1』 山と溪谷社 719pp.
- 太田和夫、勝山輝男、高橋秀男ほか（2000）『山溪ハンディ図鑑 4 樹に咲く花 離弁花 2』 山と溪谷社 719pp.
- 城川四郎、高橋秀男、中川重年ほか（2001）『山溪ハンディ図鑑 5 樹に咲く 花合弁花・単子葉・裸子植物』 山と溪谷社 719pp.
- 鈴木庸夫、菱山忠三郎ほか（1995）『山溪ポケット図鑑 1 春の花』 山と溪谷社 767pp.
- 鈴木庸夫、菱山忠三郎ほか（1994）『山溪ポケット図鑑 2 夏の花』 山と溪谷社 767pp.
- 鈴木庸夫、菱山忠三郎ほか（1994）『山溪ポケット図鑑 3 秋の花』 山と溪谷社 767pp.
- 清水矩宏、森田弘彦、廣田伸七（2001）『日本帰化植物写真図鑑』 全国農村教育協会 554pp.
- 植村修二、勝山輝男、清水矩宏、水田光雄、森田弘彦、廣田伸七、池原直樹（2010）『日本帰化植物写真図鑑 2』 全国農村教育協会 579pp.

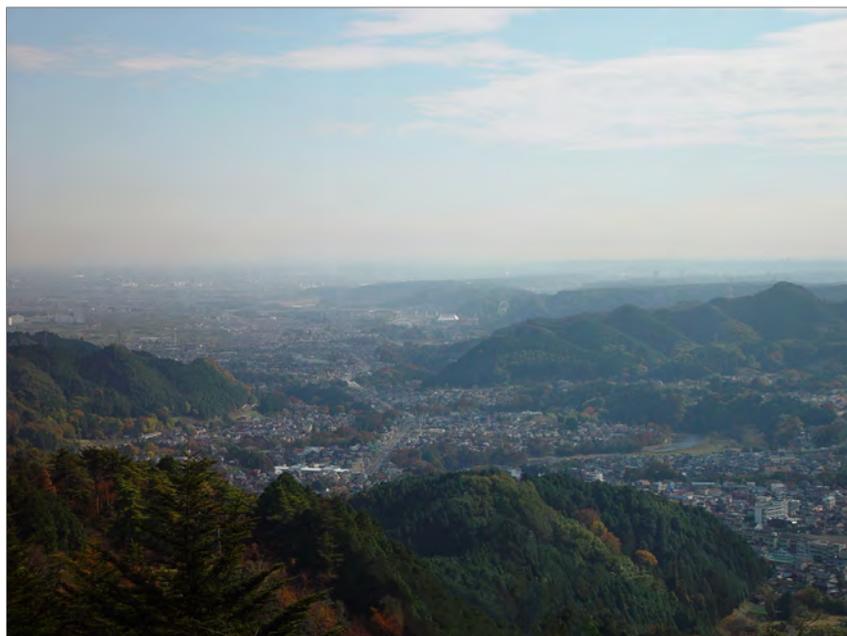
動物班

- 阿部永、石井信夫、金子之史、前田喜四雄、三浦慎吾、米田政明（2005）『日本の哺乳類（改訂版）』 東海大学出版会 204pp.
- 浦野守雄、重昆達也、高水雄治（2002）「東京都奥多摩地域のコウモリ類(1)あきる野市、青梅市、檜原村における最終記録」『東京都高尾自然科学博物館研究報告第 21 号』 pp.13-20

- 岡崎弘幸、今西誠、重昆達也（1996）「東京都におけるムササビの分布」『東京都高尾自然科学博物館研究報告第 17 号』 pp.1-24
- 岡崎弘幸（2012）「ムササビとニホンモモンガが共存する神社（東京都編）」『リスとムササビ』 No.28 pp.9-11
- 金田正人（2007）「アライグマ対策の課題」『日本の科学者』 vol.42-2
- 川原で遊ぼう会（2007-2011）「夢みる三角川原」第 11 号-36 号
- 川原で遊ぼう会（2008）「里の川・平井川の自然を保全するために」 pp.16-17
- 川原で遊ぼう会（2009）「里の川・平井川の自然を保全するために」（続編） pp.5-32
- 川原で遊ぼう会（2010）「2009 年平井川におけるカヤネズミ調査のまとめ」 pp.4-10
- 芝田史仁、川道武雄（2011）「ヤマネとヒメネズミの巣箱利用における性差と競合種の影響」『リスとムササビ』 No.26 pp.13-23
- 田村典子（2005）「クリハラリス（通称タイワンリス）の生態と対策について」『リスとムササビ』 No.17 pp.1-5
- トウキョウサンショウウオ研究会（1999）「トウキョウサンショウウオは生き残れるか？—東京都多摩地区における生息状況調査報告書—」 pp.25-30
- 東京都西多摩建設事務所（2005）「平井川生物調査委託報告書」 pp.2-166-2-168
- 東京都立八王子高陵高等学校生物部（1999）「東京都多摩地区における野生動物の分布と環境評価の試み」『東京都高尾自然科学博物館研究報告第 18 号』 pp.11-33
- 西多摩自然フォーラム（2005）「東京都西多摩地区におけるオオムラサキの生息状況と保護方策」 pp.7-23
- 畠佐代子（2011）「カヤネズミ (*Micromys minutes*) の栄養特性の解明とその活用による生息地の保全に関する研究」 pp.3-16
- 森弘安（2009）「野生化したアライグマ対策の現状（東京都での現状と、他の道府県での研究と対策）」『SEF 科学教育通信』 NO.48（通巻 71） pp.1-8

調査員名簿

地質班	(故) 樽 良 平	あきる野市自然環境調査部会委員 (副会長)
	青 谷 知 己	あきる野市自然環境調査部会委員
	江波戸 秀 夫	市民調査員
	増 子 康 夫	市民調査員
	竹之内 正 雄	市民調査員
	高 橋 邦 宏	市民調査員
	相 見 洋 介	市民調査員
	田 口 昭 治	市民調査員
	岡 本 幸 子	市民調査員
	廣 藤 明 人	市民調査員
植物班	船 田 雅 男	あきる野市自然環境調査部会委員
	三 浦 忠 士	あきる野市自然環境調査部会委員
	大 森 雄 二	あきる野市自然環境調査部会委員
	鈴 木 和 子	あきる野市自然環境調査部会委員
	遠 藤 純 夫	あきる野市自然環境調査部会委員
	表 美 子	あきる野市自然環境調査部会委員
	伊 藤 博	市民調査員
	馬 場 晴 雄	市民調査員
	坂 野 紀世子	市民調査員
動物班	森 弘 安	あきる野市自然環境調査部会委員 (会長)
	宮 崎 征一郎	あきる野市自然環境調査部会委員
	辻 淑 子	あきる野市自然環境調査部会委員
	栗 原 達 夫	あきる野市自然環境調査部会委員
	栗 原 正 和	あきる野市自然環境調査部会委員
	浦 野 守 雄	あきる野市自然環境調査部会委員
	下 野 晃 一	あきる野市自然環境調査部会委員
	勇 勝 美	市民調査員
	厚 芝 俊 樹	市民調査員
	佐 野 泰 道	市民調査員



表紙写真（金比羅山からの眺望）

あきる野市自然環境調査報告書 （平成 21 年度～23 年度）

平成 25 年 3 月

調査・編集：あきる野市環境委員会自然環境調査部会
発 行：あきる野市

東京都あきる野市二宮350番地
電話 042-558-1111（代）
<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>

印 刷：アサヒ印刷株式会社
東京都羽村市羽中 3-6-15

本報告書の内容は、無断転用・転載を禁止する。